

商工經濟日誌

内國の部

九月十六日(月) ▲蠶糸中央會評議員會生糸輸入稅撤廢

反對決議尙蠶糸業國策樹立調查會組織決定

十七日(火) ▲農林省發表四年度春蠶收購高五千五百九

萬四千二百七十五貫

▲關議失業防止及救濟公私事業調節委員會設置決定

▲郵便貯金廿億圓突破

▲正金銀行爲替建值對米四十六ドル八分七(四分一)引上

十八日(水) ▲正金爲替建值對米四十七ドル八分一(四分一)引上

▲世界動力會議東京部會總裁秩父宮奉戴式舉行

二十日(金) ▲中甸貿易出超二千七百三十五萬五千圓(前年同期比較二千三百九十一萬四千圓增)

▲日本製紙聯合會委員會生產制限有力四社五分擴張(二割五分)其他會社能力按分增加及希望休轉獎勵金二割五分增額決定

▲日本製紙聯合會委員會生產制限有力四社五分擴張(二割五分)其他會社能力按分增加及希望休轉獎勵金二割五分增額決定

商工經濟日誌

▲正金爲替建值對米四十七ドル八分三(四分一)引上

二十四日(火) ▲全國砂糖商大會開催(大阪)

▲正金爲替建值對米四十七ドル二分一(八分一)引上

二十六日(木) ▲勞働保險調查會船員保險法案審議可決

二十八日(土) ▲樞密院本會議貨物輸出入禁止及制限撤廢條約批准案可決

三十日(月) ▲下旬貿易出超千九百四十四萬六千圓(前年比較八百六十六萬六千圓增)

十月一日(火) ▲農林省發表第一回米收穫豫想六千五百七十八萬八千石

▲化學工業協會揮發油關稅引上に付關稅審議會へ陳情

三日(木) ▲日本羊毛工業會モスリン消費稅課稅標準價額引下の件大藏省及關係稅務監督局對陳情

四日(金) ▲大阪商工會議所貿易振興委員會對支貿易付決議發表

九日(水) ▲上旬貿易出超二千三百八十萬圓(前年比較千四百萬圓增)

▲正金爲替建值對米四十七ドル八分五(八分一)引上

十日(木) ▲上旬貿易出超二千三百八十萬圓(前年比較千四百萬圓增)

▲正金爲替建值對米四十七ドル八分五(八分一)引上

(1011)1011

第五卷 第一號

(104)104

- 十一日(金) ▲農林省政府所有内地米買替付古米十五萬石賣却要項發表
- 十二日(土) ▲紡績聯合會對日本郵船明年年度印度綿積取運貨据置決定
- 十五日(火) ▲閣議官吏俸給減額決定濱口首相聲明書發表
- 十六日(水) ▲司法官其他減俸反對論擧頭
- ▲大藏省明年年度經費節約案(節約一億十萬圓繰延四千七百萬圓合計一億四千八十萬圓)各省對內示
- 十九日(土) ▲仙石滿鐵總裁濱口首相訪問減俸案撤回勸告
- ▲大藏省日銀及國債シンゲケート銀行代表表招致十二月一日期限了却五分利國庫債券三千七百九十九萬八千圓借替第五十一回國庫債券四千萬圓發行條件協議決定
- ▲中旬貿易出超千六百廿三萬二千圓(前年比較千二百卅四萬九千圓增)
- 二十二日(火) ▲閣議減俸案撤回正式決定聲明書發表
- ▲大阪商工會議所主催第一回貿易振興協談大會輸出信保保證制度設置外八件可決
- 二十五日(金) ▲商工省東京瓦斯增資拒否採定決定會社及東京市宛指令發
- 二十六日(土) ▲太平洋會議準備會終了
- ▲東京商工會議所關稅調查委員會砂糖關稅廢反對決議
- 二十八日(月) ▲第三回太平洋會議(京都)開催式舉行
- ▲正金銀行爲替建值對米四十七ドル四分三(八分一)引上
- 二十九日(火) 萬國工業會議開會式舉行
- ▲世界動力會議東京部會開會式舉行
- ▲國際汽船總會減資案可決
- 三十日(水) ▲關稅審議會特別委員會鐵管關稅改正件決定
- ▲正金爲替建值對米四十八ドル(四分一)引上
- 三十一日(木) ▲下旬貿易出超千八百萬三千圓(前年比較千六百七十四萬七千圓增)
- 十一月二日(土) ▲勞農黨中央執行委員長大山郁夫氏外役員決定結黨式終了
- 四日(月) ▲正金銀行爲替建值對米四十八ドル八分一(八分一)引上
- 五日(火) 東洋北海日本戶畑以上四製鐵會社協議製鐵協會設立決定
- ▲正金爲替建值對米四十八ドル四分一(八分一)引上
- 七日(水) ▲五年度豫算大藏省査定案決定發表總額十六億八百七十七萬六千圓

八

▲萬國工業會議及動力會議閉會式舉行

▲正金爲替建値對米四十八ドル二分一(四分一)引上

日(金) ▲第五十七回帝國議會十二月廿三日召集閉會式

書公布

▲生糸共同保管問題委員會價額及數量決定

▲東京海上外十二社瀨洲特產物海上保險プール組織成立

九

日(土) ▲閣議五年度豫算案審議大藏省案承認

▲太平洋會議閉會次回開催地支那決定

▲農林省發表十一月一日現在殘存米(沖繩報告未着)七百八十二萬七千四百十三石(前年比較八十一萬二千二百八石減)

▲十一月月上旬貿易出超千五百七十七萬二千圓(前年比較千二百十五萬五千圓增)

▲十一月下旬貿易出超千五百七十七萬二千圓(前年比較千二百十五萬五千圓增)

▲十一月(月) ▲農林省發表第二回米穀收穫豫想五千八百三十七萬二千三百十石(前回比較二百十九萬八千五百七十七石減)

十

▲十一月(月) ▲農林省發表第二回米穀收穫豫想五千八百三十七萬二千三百十石(前回比較二百十九萬八千五百七十七石減)

▲十一月(火) ▲第四十三回全國農工銀行同盟大會開催

十一

▲十一月(金) ▲商工省取引所令改正案次期議會提出決定

十二

▲十一月(月) ▲英米財團對一億圓借入クレヂット設定交渉成立

十三

▲內閣統計局調查十一月一日現在人口發表六千二百九十九

商工經濟日誌

▲內閣統計局調查十一月一日現在人口發表六千二百九十九

三萬八千二百人

十八日(月) 正金銀行爲替建値對米四十八ドル八分五(八分一)引上

▲十一月(水) 中旬貿易出超六百廿七萬六千圓(前年比較五百七十六萬四千圓增)

▲十一月(水) 中旬貿易出超六百廿七萬六千圓(前年比較五百七十六萬四千圓增)

▲十一月(木) ▲濱口首相參內上奏御裁可得午後四時四十分

▲十一月(木) ▲濱口首相參內上奏御裁可得午後四時四十分五分大正六年大藏省令銀貨幣又ハ銀地金輸出取締件同六年同第廿八號金貨幣又ハ金地金輸出取締件及同七年同第卅八號金銀材料製品及金銀合金輸出取締件廢止昭和五年一月十一日施行大藏省令第廿七號公布

▲十一月(金) ▲米穀調查會四十萬石米買替決定

▲十一月(日) ▲東京市會議員有志主唱家賃地代値下全國同盟組織成立

▲十一月(火) ▲第廿八回關西銀行大會(大阪)開催

▲十一月(水) ▲正金爲替建値對米四十八ドル八分七(八分一)引上

▲十一月(土) ▲軍縮會議全權及一行出發若槻氏聲明書發表

▲鐵道省局長會議貨物運賃引下決定

▲大藏省朝鮮專業公債了號五分利六百五十萬圓預金部引受發行條件發表

表

▲鐵道省局長會議貨物運賃引下決定

▲大藏省朝鮮專業公債了號五分利六百五十萬圓預金部引受發行條件發表

表

▲鐵道省局長會議貨物運賃引下決定

▲大藏省朝鮮專業公債了號五分利六百五十萬圓預金部引受發行條件發表

表

▲鐵道省局長會議貨物運賃引下決定

▲大藏省朝鮮專業公債了號五分利六百五十萬圓預金部引受發行條件發表

▲下旬貿易出超七百七十三萬九千圓(前年同期入超一千五十萬一千圓)

十二月二日(月) ▲第四回商品陳列所聯合會大會開催

四日(水) ▲第廿一回中央統計委員會總會明年十月一日國勢調査執行決定

五日(木) ▲絹紡工業會總會本月十六日以降半年間一割二分採短決定

六日(金) ▲東京市電車及自動車罷業開始

七日(土) ▲日本郵船歐洲航路明年四月以降四日市及大阪寄港決定

九日(月) ▲正金銀行爲替建値對米四十九ドル(八分一)引上

十日(火) ▲商工省議產業合理化局組織決定

十一日(水) ▲鐵道省議運費引下品目決定(收入減見積額六百五十萬圓)

十四日(土) ▲鋼材聯合會緊急會議明年一月以降三割限產及全國の共販組合設立東西六社意見一致

外國の部

九月二十一日(土) ▲プラナーモンド及アーレンス兩會社英獨硫安五圓値下

二十六日(木) ▲英蘭銀行公定割引步合一分引上(六分五厘)

厘)

二十七日(金) ▲埃國々立銀行公定割引步合一分引上(八分五厘)

十月一日(火)

▲露支兩軍シベリヤ國境交戦

三日(木) ▲ドイツ賠償金支拂機關國際銀行創立會議開始

七日(月)

▲英國外務省日、英、米、佛、伊五國海軍々備縮小會議開催付正式招請狀發

▲倫敦東洋銀行聯盟日支向輸出利付英貨手形利率五厘引上(七分五厘)十八日實施決定

十日(木) ▲國際勞動會議開催(セネガ)

二十二日(火) 佛國ブリアン内閣總辭職

二十三日(水) ▲紐育準備銀行引受手形利率八分一引下(五分)決定

二七日(木) ▲紐育株式暴落

二十九日(火) 紐育株式市場恐慌の慘落

三十日(水) 紐育株式市場人氣落付三十一日午前及十二月一二兩日帳簿整理休業

三十一日(木) ▲英蘭銀行公定割引步合五厘引下(六分)

十一月二日(土) ▲獨逸帝國銀行公定割引步合五厘引下(七分)

▲佛國タルヂエ内閣成立

六

日(水) ▲三井物産日本石油及和蘭ホルネオ政廳共同經營油田開拓計畫具體案決定

八

日(金) ▲獨逸賠償全國際決済銀行設立委員會同行本店スイス設置件可決

▲日華紡績上海補東工場職工四千名賃銀一割値上要求罷業開始

十三

日(水) ▲英、佛、米、日、伊、獨六國委員國際決済銀行組織規程協定案調印

十四

日(木) ▲紐育準備銀行公定割引歩合五厘引下(四分五厘)

二十一

日(木) ▲英蘭銀行公定割引歩合五厘引下(五分五厘)

十二月七日(土)

▲塊國々立銀行公定割引歩合五厘引下(七分五厘)

十二

日(木) ▲英蘭銀行公定割引歩合五厘引下(五分)